

**令和6年度予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**

**教育委員会事務局**



## 目 次

神岡小学校プール更新に向けた調査設計の実施 .....	3
放課後児童クラブ等業務の包括業務委託 .....	4
生きづらさ・学びづらさのある児童生徒支援 .....	5
地域クラブ活動開始に向けた体制整備 .....	6
I C T 機器を活用した学習環境の整備 .....	7
飛騨市学園構想の推進 .....	8
「ねんりんピック岐阜 2025」開催に向けた取組み .....	9
「ひだ流葉クロスカントリー2024」の開催 .....	10
スポーツに特化した学童保育の推進 .....	11
オリンピック・トップアスリートとの交流 .....	12
高齢者のスポーツ環境の整備 .....	13
医療と連携した健康ウォーキングの推進 .....	14
姉小路氏城跡の継承 .....	15
飛騨みやがわ考古民俗館の活用推進と旧中村家の修復 .....	16
歴史的公文書の調査・整理検討 .....	17
国民文化祭・総文祭の開催 .....	18

注：タイトル末尾に\*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（\*印がない事業は主要事業編から再掲となります）

## 新規 神岡小学校プール更新に向けた調査設計の実施

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,500	学校施設整備基金 3,500	委託料 3,500

(前年度予算 0)

### 2 事業背景・目的

神岡小学校のプールは、建設後60年を経過し、プールサイドや管理棟を含めた施設全体が老朽化していることに加え、漏水が原因と考えられるプール水位の低下やろ過装置の不具合など、児童のプール使用に支障が生じていることから、学校や保護者からの改修要望が多く寄せられています。

他方で、神岡町旭ヶ丘の市民プールも同様に老朽化が進んでおり、その改修整備には多大な費用が必要となります。

このことから、神岡小学校プールを市民プールとしても利用できるようにすることを前提として、令和7年度以降の神岡小学校プールの更新に向けた調査設計業務を実施し、児童の学習環境と市民等のスポーツ環境整備を図ります。

### 3 事業概要

調査設計業務の実施にあたっては、全面改修を行うよりも安価での施工が見込めることから、従来の鉄筋コンクリート製のプールにFRP（繊維強化プラスチック）のプール槽をはめ込んで設置するFRPカバー工法を検討します。

また、ろ過装置や給排水の配管、電気設備等の新設のほか、更衣室やトイレについて成人利用も想定した設計とするなど、市民プールとしても利用できる整備計画とします。



## **新規** 放課後児童クラブ等業務の包括業務委託

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
142,000	国庫・県交付金 8,518 使用料 9,727 一般財源 123,755	委託料 142,000

(前年度予算 - )

### 2 事業背景・目的

飛騨市における小中学校管理業務（児童生徒支援員業務・学校図書館司書業務・校務員業務・放課後児童クラブ運営業務）は、児童生徒に対する様々な支援、安心して安全な学校生活を送るためには欠かせない業務であり、現在約80名の職員が配置されています。

こうした中で、共働き家庭の増加に伴い、放課後や長期休業期間に放課後児童クラブを利用する児童が増加しており、指導員の人員確保や利用料徴収に係る事務負担の増加などが課題となっています。また、各学校管理業務に携わる職員の専門性を高めるための研修を充実させることも必要となっています。

こうしたことから、児童生徒支援員、学校図書館司書、校務員、放課後児童クラブ支援員の4業務を包括的に外部委託することで、学校管理業務に係る事務負担を軽減するとともに、状況に応じた適正かつ柔軟な人事配置と円滑な業務運営を目指します。

### 3 事業概要

学校管理業務（児童生徒支援員業務・学校図書館司書業務・校務員業務・放課後児童クラブ運営業務）を包括的に外部委託することにより、民間のノウハウを活用し、質の高い公共サービスの提供や事務の効率化等を図ります。

#### 【包括委託の概要】

業者選定	公募型プロポーザル方式により、委託業者を選定
履行期間	令和6年4月1日から令和9年3月31日まで（3年間）
委託費上限	3年間総額426,000,000円（消費税込）
契約方法	公募型プロポーザルによる契約候補者と協議のうえ随意契約

#### 【4業務の主な内容】

児童生徒支援員	支援を必要とする児童生徒に対する日常生活等の支援
学校図書館司書	蔵書管理や本の貸出返却、学校図書館内の展示整備等
校務員	校舎内外の清掃・除草・修繕・除雪等、給食コンテナ受入等
児童クラブ指導員	児童の出欠及び健康管理、生活や遊び・自主学习への支援等

担当課：教育委員会事務局学校教育課（☎0577-73-7494） 予算書：P.128

## **拡充** 生きづらさ・学びづらさのある児童生徒支援

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
32,729	県補助金 4,108 ふるさと納税 4,800 一般財源 23,821	会計年度任用職員給 24,546 委託料 4,800 手数料 2,000 その他 1,383
（前年度予算 12,903）		

### 2 事業背景・目的

市内の小中学校において、集団生活に不安がある子や学習面・生活面に困り感がある子など、支援を必要とする児童生徒が数多く在籍しており、不登校や不適應につながってしまう状況も見られるなど、校内教育支援センター（相談室）の必要性が増しています。

最近では、小学校入学時の環境変化から登校を渋る児童、不登校や不適應により学力への不安を抱えている児童生徒、また、通常学級においても、発達障がい等により生活や学習の一部に支援が必要な児童生徒など、学校生活を送るうえで支援を必要とする児童生徒が相当数在籍しているのが実情です。

そこで、障がいの有無に関わらず、何らかの支援を必要としている児童生徒に対して、早期に適切な支援を行う体制を整備し、生きづらさや学びづらさの軽減を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】作業療法士等の学校派遣（7,015千円）

市内の各小中学校へ、毎月2回作業療法士等を派遣し、支援が必要な児童の見立てを行い、個別かつ適切に支援します。さらに、学校現場における支援について、教職員と連携のうえ実施するとともに、必要に応じて発達検査を行い個別支援につなげます。

#### ②【拡充】校内教育支援センターへの教育相談員の配置（18,027千円）

中規模校における校内教育支援センターに教育相談員を配置し、不登校や不適應の児童生徒の学びの場を確保するとともに、学びたいと思った時に学べる環境を整備します。また、児童生徒が自身の取組を自己決定する場を大切にし、自立に向けた支援を行います。

#### ③【継続】スタディサポーターの配置（6,519千円）

不登校や不適應の児童生徒が、将来の自己実現に向けて歩み出すために、スタディサポーターを配置し、不登校児童生徒の家庭訪問や適応指導教室「グリーンルーム」における学習支援を行います。また、不登校傾向にある児童生徒や学力に不安を抱いている児童生徒に対する学習支援も併せて実施します。

担当課：教育委員会事務局学校教育課（☎0577-73-7494） 予算書：P.127

## **拡充** 地域クラブ活動開始に向けた体制整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
35,100	国補助金 県補助金 公共施設管理基金	委託料 報償費 工事請負費
(前年度予算 15,331)	一般財源	その他
	5,893 1,833 3,000 24,374	15,002 8,770 3,000 8,328

### 2 事業背景・目的

児童生徒数の減少に伴い、部活動やスポーツ少年団に所属する部員や団員が減り、特に、団体競技は人数不足によって、学校単位での活動が成立しない事案が生じています。

こうした中で、市では、地域クラブ活動（スポーツ系・文化系・まちづくり系）を令和8年度までに本格始動するため、民間事業者と協働のうえ、地域クラブ活動実証事業に取り組み、課題の抽出と解消を行いながら仕組みを構築していきます。さらに、地域クラブ活動を主体的に運営する組織の将来的な設立に向けて、教育委員会事務局内に地域クラブ活動推進室（仮称）を設置し、推進体制を検討・整備します。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】地域クラブ活動の実証（25,398千円）

地域クラブ活動の実証から様々な活動パターンを整理し、課題を把握するとともに、本格始動にあたって必要となる対策やサポート内容の検討を開始します。

実証においては、地域クラブ活動（拠点校や合同による部活動を含む）を実施するため、神岡中学校と古川中学校間の生徒移動用バスを運行するほか、地域クラブ活動実施団体へ指導者に対する謝礼相当額を補助します。

#### ②【拡充】地域クラブ活動推進のためのコーディネーター配置（6,702千円）

地域クラブ活動推進のため、地域クラブ活動推進室内にコーディネーターを配置し、地域クラブ活動推進会議の企画運営をはじめ、指導者向け研修の実施や実証による課題抽出や対策の検討など、地域クラブ活動の本格始動に向けた取組みを始めます。

#### ③【新規】文化系部活動の地域クラブ活動化に向けた校舎の修繕工事（3,000千円）

休日等の閉校日に吹奏楽や合唱などの文化系地域クラブの活動場所を確保するため、古川中学校校舎において使用教室のみ出入りできるように仕切りを設置するなど、閉校日における学校施設の利用環境を整備します。

担当課：教育委員会事務局学校教育課（☎0577-73-7494）

教育総務課（☎0577-73-7493） 予算書：P.133

## **拡充** ICT機器を活用した学習環境の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な用途】	
110,500	学校施設整備基金	72,007	備品購入費	72,007
	一般財源	38,493	使用料	13,240
(前年度予算 47,583)			その他	25,253

### 2 事業背景・目的

国のGIGAスクール構想を受けて、令和5年度末までに高速大容量ネットワーク、一人1台タブレットPCに加え、教師用デジタル教科書及びロイロノート等の教材や電子黒板など、ICT環境を整備してきました。また、ICT支援員を配置し、ICTの効果的な活用事例を学ぶ研修会等を開催してきたところです。今後も市内小中学校におけるICT機器を効果的に活用した授業づくりを推進するため、整備から一定期間を経過した機器等を対象として計画的に更新していきます。



### 3 事業概要

#### ①【拡充】ICT機器の整備 (87,305千円)

学習環境の整備のため、児童生徒一人につき1台配備しているタブレットPC等のICT機器について、整備から5カ年を経過したものを対象として更新します。

(更新対象となる主な機器)

タブレット及びタブレット保管庫、校務用サーバー、校務用ノートPC、職員室メール用PC、図書館管理用PC、スタンド付き65型ディスプレイ、タブレットPC

#### ②【継続】ICT機器を活用した授業づくり (23,195千円)

授業におけるICT機器の効果的な活用を目指して、ICT支援員を配置し、児童生徒や教職員に対する支援を行うとともに、年度末にICTを活用した授業事例集を制作します。

また、デジタル教科書やロイロノート、Eライブラリなどの教材を継続配備することで、学校や家庭でもタブレットPCを活用しやすい環境を整えます。

## **拡充** 飛騨市学園構想の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】	
7,172	県補助金	1,000 委託料	5,207
	ふるさと納税	6,090 消耗品費	717
(前年度予算 4,534)	負担金	82 その他	1,248

### 2 事業背景・目的

市では、保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・家庭・地域が総がかりで、予測困難な時代を生きる子どもたちに「幸福な人生と持続可能な社会の創り手となる力」を育むためのプロジェクトとして「飛騨市学園構想」を推進しています。

現在は、“面白がれる大人と子どもがこれからの地域と学校を創る”をキーワードに、「みんなで育て みんなが育つ 魅力あるまち」の具現化を目指して取り組んでおり、学校と地域が協働した子どもたちの探究学習の質は確実に高まってきています。令和5年度では、その取組みを多くの方に知っていただくために「飛騨市探究フェス」を開催し、地域と学校の協働活動が広がりつつあります。市では、さらに児童生徒が多様な人・物・事とつながり、自ら最適解を追究し学びを深めることを大切にしたいと考えています。

こうしたことから、予測困難な時代を生きる子どもたちに、地域が一丸となって、正解のない課題に対して「自分なりの答えを導き出す力」や様々な課題の解決に向けて多様な他者と協働する力を育むための取組みを引き続き推進していきます。



### 3 事業概要

#### ①【拡充】飛騨市学園構想プロジェクト推進委託（5,207千円）

飛騨市学園構想プロジェクト推進に必要な事務局会議やコア会議のコーディネーター、探究フェスの企画運営を外部委託により実施します。また、育みたい資質・能力ガイドマップ（仮称）のデザイン及び制作を併せて委託します。

#### ②【新規】学校安全総合支援事業（1,000千円）

古川中学校を拠点校として、学校安全の推進体制の構築や実践的な取組みを行います。また、先進事例を参考に学校安全の組織的取組みや外部専門家の活用を進めます。

#### ③【継続】大正大学との連携（646千円）

大正大学と連携し、生徒が自身の探究内容について、大正大学の学生と相談し助言を受けられる体制を整えます。



## **新規** 「ねんりんピック岐阜2025」開催に向けた取組み

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,500	県補助金 1,630 一般財源 1,870	負担金 3,500
(前年度予算 0)		

### 2 事業背景・目的

令和7年度に岐阜県において第37回全国健康福祉祭ぎふ大会「ねんりんピック岐阜2025」が開催されます。県では、県民の温かさや熱意、そして「オール岐阜」による心のこもったおもてなしで全国の皆さんをお迎えすることを基本方針に「清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪」をスローガンに掲げ、「スポーツ・文化の振興」につなげることで、「健康長寿」の素晴らしさを確かめ合うこと、「地域共生社会」実現の契機とするこの3項目を大会目標としています。飛騨市においてもサッカー競技が行われる予定であり、大会前年度の令和6年度では、2025年大会開催に向けた諸準備に取り組めます。

### 3 事業概要

令和7年10月に開催される「ねんりんピック岐阜2025」のため、飛騨市実行委員会を組織し、本開催に向けた各種準備を進めるとともに、令和6年度に鳥取県で開催される本大会の視察を行います。

また、「ねんりんピック岐阜2025」の開催に向けた周知や機運醸成のため、1年前に実施することが必須条件となっているサッカー競技「リハーサル大会」を令和6年10月頃に飛騨古川ふれあい広場にて開催します。



担当課：教育委員会事務局スポーツ振興課（☎0577-62-8030） 予算書：P.143

## 【拡充】 「ひだ流葉クロスカントリー2024」の開催

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
3,452	負担金 650 ふるさと納税 2,802	委託料 3,452
(前年度予算 3,396)		

## 2 事業背景・目的

野原や森林を走るクロスカントリー走は、平坦な整地を走るのに比べ、心肺や筋力に負担がかかるほか、着地時のバランス感覚や体幹に効果があるなど、運動能力向上に有効なトレーニング方法として注目されています。こうしたことから、市ではひだ流葉スキー場のオフシーズンの利活用と神岡町流葉地域周辺の活性化に着目し、令和4年度からスキー場を活用したクロスカントリーイベントを計画・開催してきました。

令和5年度は、参加が振るわなかった前年度の反省を踏まえ、参加対象や周知等を見直し、全国から幅広い年齢層の参加をいただきました。

令和6年度では、表彰部門を増やすとともに、会場を盛り上げる参加者おもてなし要素を増強するなど、令和5年度で把握した参加者ニーズをより反映することで、さらなる参加者獲得とイベントの定着化を図ります。

## 3 事業概要

令和5年度に引き続き、大会運営を地元ウォーキング事業運営団体に委託のうえ開催します。また、ひだ流葉スキー場指定管理者の協力を得てコース整備を行います。

- 開催日 : 令和6年10月13日（日）予定
- 場 所 : ひだ流葉スキー場
- 部 門 : 3.3km（小学生以上） ※新たに表彰部門として追加  
6.6km（高校生以上）  
9.9km（高校生以上）
- 参加見込 : 300名（各部門：100名）（参考 令和5年度実績：160名）



担当課：教育委員会事務局スポーツ振興課（☎0577-62-8030） 予算書：P.143

## 拡充 スポーツに特化した学童保育の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な用途】
3,500	負担金 470 ふるさと納税 3,030	委託料 3,500
(前年度予算 2,800)		

### 2 事業背景・目的

小学校の放課後送迎バスによる直接帰宅や保護者の家庭環境に起因する子どものスポーツ離れ等、スポーツを行えない環境にある子どもに対して支援を行うことによりスポーツ実施率の向上を図るため、令和3年度からスポーツに特化した学童保育「インクルーシブ・スポーツ学童」を総合型地域スポーツクラブに委託し、古川地区及び神岡地区において開設しています。これまでの実績やアンケート結果によれば、各町ともに利用者ニーズが高くなっているとともに、子どもたち自身が選択し様々なスポーツに触れることで、仲間づくりや継続したスポーツの実施、保護者の負担軽減にも繋がっています。

令和6年度は、各町における実施回数を拡大することで、一人でも多くの子ども達がスポーツを身近に感じ、スポーツと学習を生活の一部として取り入れることができるよう、引き続きスポーツ実施率の向上に努めます。

### 3 事業概要

事業実施にあたっては、飛騨市スポーツ協会をはじめ、地域内外のスポーツ関係者、教育関係者等と連携し、地域ぐるみで子ども達のスポーツ環境の充実を図ります。

(事業の流れ)

- ・小学校から各拠点の体育館へバス移動
- ・補食及び学習(宿題や自主学習)、スポーツ活動(各種スポーツの体験)
- ・終了後、保護者又はスポーツ少年団や他のスポーツ活動への引き渡し

#### 【古川地区】

委託先	総合型地域スポーツクラブ「ひだチャレンジクラブ」
会場	古川トレーニングセンター
開催回数	年18回程度(昨年度比6回増)

#### 【神岡地区】

委託先	総合型地域スポーツクラブ「飛騨シューレ」
会場	桜ヶ丘体育館
開催回数	年20回程度(昨年度比2回増)

担当課：教育委員会事務局スポーツ振興課(☎0577-62-8030) 予算書：P.143

## **拡充** オリンピアン・トップアスリートとの交流

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,820	ふるさと納税 (特定目的) 1,820	補助金 1,320 委託料 500
(前年度予算 1,820)		

### 2 事業背景・目的

子どものスポーツ離れ、体力低下、中学部活動の地域移行など、子どものスポーツを取り巻く環境は様々な課題を抱え変革期を迎えています。他方で、パリ2024オリンピック・パラリンピック予選大会の開催や、令和5年開催の野球WBCにおける日本代表選手の活躍に加え、市内においても多くの子ども達が各スポーツ種目において全国大会に出場するなど、スポーツの機運は高い状況が続いています。

このことから、市では、子ども達にスポーツの楽しさや魅力を感じてもらうほか、指導者や保護者による適切、的確な子ども達への指導につながるよう、オリンピックやトップアスリートなど著名なスポーツ選手と触れ合い学ぶ機会を設け、令和5年度にも多くの子ども達や指導者に参加いただきました。

令和6年度は継続して実施している事業を一部拡大し、子ども達にスポーツの魅力を伝えるほか、中学校部活動の地域移行を見据えた指導者の育成を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】オリンピック・トップアスリートとの交流 (900千円)

市内の小中学生や指導者、保護者を対象としたオリンピック出場経験者やトップアスリート等によるスポーツ教室やふれあい交流会、講演会等について、これまでにはなかった新たな競技種目の選手を招へいして開催します。

#### ②【拡充】社会人野球チームによる野球教室の開催 (420千円)

県内を代表する社会人野球チーム「西濃運輸」の協力により、小中高校生を対象とした野球教室を8月にサン・スポーツランドふるかわで開催します。また、指定管理者との連携によりキッチンカーを誘致するなど、賑わいを創出します。

#### ③【継続】FC岐阜による子どもサッカー教室の開催 (500千円)

小学校1～6年生を対象として、FC岐阜によるサッカー教室を年2回開催します。

## **新規** 高齢者のスポーツ環境の整備

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
50,000	公共施設管理基金 50,000	工事請負費 48,630
		備品購入費 860
（前年度予算 ー）		その他 510

### 2 事業背景・目的

市では、飛騨市シニアクラブ連合会からの永年の要望による古川町屋内運動場の整備を平成31年2月に策定した飛騨市スポーツ施設整備計画における優先事業として位置付け、これまで検討・設計を進めてきました。しかし、昨今の建築資材の急激な高騰等により、当初想定していた事業費を大幅に超過することとなったことを受け、やむなく同施設の整備計画を一旦休止せざるを得ない状況となりました。

このことから、事業休止に伴う代替事業として、飛騨市シニアクラブ連合会等から要望いただいている既存スポーツ施設の環境整備を行うことで、高齢者スポーツの推進と健康増進を図ります。

### 3 事業概要

飛騨市シニアクラブ連合会からの令和5年度各要望を中心として、各町において高齢者利用実績のある既存スポーツ施設の環境整備を進めます。

●対象施設と環境整備の主な内容

【古川地区】黒内屋内運動場、森林公園

- ・屋根塗装修繕工事
- ・照明LED化工事
- ・下水道接続工事
- ・森林公園駐車場整備（屋内運動場建設予定地）

【河合地区】角川土間付体育館

- ・屋根塗装修繕工事

【宮川地区】坂下体育館

- ・屋根塗装修繕工事

【神岡地区】坂巻公園グラウンド公衆トイレ

- ・給水管漏水布設替工事

【全体】スポーツ施設備品の更新、補充



担当課：教育委員会事務局スポーツ振興課（☎0577-62-8030） 予算書：P.143

## **拡充** 医療と連携した健康ウォーキングの推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
4,041	ふるさと納税 負担金	4,020 委託料 21 その他
(前年度予算 3,005)		3,850 191

### 2 事業背景・目的

市では、令和元年度に飛騨市健康ウォーキングガイド協会を設立し、コロナ禍においても新たなクアの道認定コースやガイド協会認定コースを開設したほか、実践指導者の養成、定例ウォーキングやウォーキングイベントを開催してきました。こうした中で、イベント等への参加者も年々増加してきましたが、この取組みに対する市内の認知度、普及はまだ十分とはいえず、さらに推進していく必要があります。

令和6年度では、新たに医療分野との連携体制を構築し、啓発・普及活動を推進するとともに、事業の研究・実証を行うことで市民の健康意識の高揚を図り、健康増進と仲間づくり、健康寿命の延伸に繋げ、さらには市外の参加者をターゲットとしたヘルスツーリズムプログラムの作成にも取り組みます。また、従来の実践指導者養成に加え、クアオルトセラポイト（※）の養成を行うことで、医学的なエビデンスに基づくウォーキングを実施していきます。

（※）クアオルトセラポイト：ドイツのクアオルト、気候性地形療法等の専門知識を有する指導者

### 3 事業概要

#### ①【拡充】医療分野との連携事業（100千円）

J A岐阜厚生連飛騨医療センター久美愛厚生病院と連携協定を締結し、クアオルト健康ウォーキングの普及を目的としたイベントウォーキング、講演会等を開催します。また、飛騨市医師会と連携し、市内医療機関利用者への啓発・普及を推進していきます。

#### ②【拡充】クアオルトセラポイトの養成（110千円）

従来の実践指導者養成に加え、クアオルトセラポイトを養成します。

#### ③【継続】実践指導者の養成と指導者スキルアップ講習の開催（1,240千円）

新たな実践指導者の養成と指導者向けのスキルアップ講習を開催します。

#### ④【継続】飛騨市健康ウォーキング事業の実施（2,400千円）

市内5カ所のコースを舞台とした健康ウォーキングを継続して実施します。

担当課：教育委員会事務局スポーツ振興課（☎0577-62-8030） 予算書：P. 142

## 拡充 姉小路氏城跡の継承

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
6,500	国庫補助金 1,332 ふるさと納税 5,168	委託料 5,989 その他 511
(前年度予算 8,302)		

## 2 事業背景・目的

市では、平成29年度以降、姉小路氏城館跡の国史跡指定を目指して総合調査を実施してきました。そうした中で、令和5年度に国史跡指定に至ったことから、地域における保護意識を高めるとともに、地域づくりや地域振興の中核となるような資源として保存と活用を永続的に進めていく必要があります。

このため、令和6年度では、姉小路氏城跡整備委員会を設置し、同史跡の保存活用計画を策定します。

また、継続的に実施している歴史講座の開催に加え、観光誘導等に活用できるよう増島城跡の復元イラストを制作して公開するなど、史跡とその価値の普及啓発を進め、貴重な文化資産として次代へと継承していきます。

## 3 事業概要

### ①【新規】保存活用計画の策定 (3,446千円)

姉小路氏城跡について、保存と活用を永続的に進めるための計画を外部委託により策定します。なお、計画策定にあたっては、客観性を担保するため有識者等を構成員とする保存活用計画策定委員会を設置し、定期的開催する検討会議において委員の意見を聴取しながら策定するものとします。

### ②【新規】山城ガイドの養成 (3,054千円)

貴重な史跡とその価値を広く普及することを目的として、小島城及び古川城の現地案内及び解説が出来る山城ガイドを養成します。なお、山城ガイドは、市が実施してきた調査の見解を説明できることを要件とすることから、その知識技能の習得のために、令和5年度の山城の企画展パンフレットと実地講座の内容を基に、山城ガイド向けの教本を制作するほか、実際にガイドを行う山城の各場所に案内用看板を設置します。

また、山城ガイドが実践した内容は保存活用計画に反映するものとします。

## 【拡充】 飛騨みやがわ考古民俗館の活用推進と旧中村家の修復

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
33,480	公共施設管理基金	715	工事請負費	30,715
	ふるさと納税(特定目的)	30,000	委託料	2,100
(前年度予算 1,460)	ふるさと納税・その他・一般財源	2,765	その他	665

### 2 事業背景・目的

飛騨みやがわ考古民俗館は、国指定文化財である積雪期用具や旧石器～縄文時代の出土品など貴重な文化財を多数収蔵・展示し、とりわけ太古の祈りに捧げられた石棒の数には目を見張るものがあります。平成30年度に関係人口の皆さんと「石棒クラブ」を設立してからは、単純に来館者数や費用対効果のみにとらわれない評価の在り方を模索する中で、オンラインイベント等で裾野を広げ、来館者数・旧中村家修復への応援者を着実に増やしてきました。

令和6年度では、一日館長制度やDXを活用した無人開館によって、いつでもだれでも訪問できる状況を作り出すことで開館日数を拡大するとともに、地元企業に管理業務を委託することで施設運営の持続可能性を高めます。併せて、隣接する旧中村家の修復に着手し、同施設を含めた一体的な活用の促進を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【新規】旧中村家修復工事(31,827千円)

ふるさと納税を原資として、旧中村家を曳家し基礎周りを修復する工事を行います。また、隣接する旧トイレを撤去します。

#### ②【新規】石棒など重要な考古資料の再整理作業(38千円)

専門家による指導を受けるため、石棒をはじめとした縄文時代の重要な考古資料のリスト化、一覧表による整理作業を実施します。

#### ③【継続】無人開館・一日館長制度の実施(1,322千円)

一日館長が遠方からお見えになり、宮川町内の宿泊施設へ宿泊した場合は、1日3千円の支援を行います。また、令和5年度実験実施した無人開館に関わる修正作業を行い、本格的な運用を開始します。

#### ④【継続】博物館資料3D化合宿の開催(293千円)

関係人口の方との協働により博物館資料情報を公開し、誰でも取得できる環境を提供してきたことにより、全国から先進地として注目されていることを受け、この取組みの基本となる博物館資料の3D化を実施する合宿を継続実施します。

担当課：教育委員会事務局文化振興課(☎0577-73-7496) 予算書：P.140



## **拡充** 歴史的公文書の調査・整理検討

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
600	一般財源	600
		委託料 132
		備品購入費 132
(前年度予算 102)		その他 336

### 2 事業背景・目的

千代の松原公民館に保管されている明治～昭和中期にかけての旧古川町の行政資料は、一部江戸時代の資料も含み、その質・量から古川町の成り立ちを知る上で重要な資料と考えられます。これらの歴史的公文書は、古川町史の編纂時に当時の町史編纂室によって仮目録が作成され、取扱いについても検討が行われましたが、現在もそのままの状態となっています。こうしたことから、令和5年度は専門家に現地確認を依頼して現状を整理し、今後の方向性を検討したところです。

令和6年度では、貴重な資料群を地域の歴史遺産として適切に保存・活用していきけるよう、どのような調査・整理作業を行って資料を保存し、公開していくか、専門家を中心とするワーキンググループを立ち上げて検討を行います。

### 3 事業概要

#### ①【新規】整理作業に向けた資料調査検討会（120千円）

千代の松原公民館に保存されている旧古川町の行政資料について、資料整理の専門家を中心とするワーキンググループを立ち上げ、今後の調査・整理の具体的な手法や年次計画を検討します。

#### ②【新規】資料の移動（264千円）

旧古川町時代の資料が保存されている千代の松原公民館1階は、大規模な災害により宮川が氾濫した際に浸水するおそれがあるため、同階に保管されている資料を上階の部屋に移動することで資料保存環境を改善します。

#### ③【継続】調査方針検討のための事例調査・資料管理用消耗品購入（216千円）

歴史的公文書の調査や公開についての先進事例を調査し、資料の調査・整理事業の計画に反映させます。また、資料の保存管理に必要な保存箱等の消耗品を購入します。

## **新規** 国民文化祭・総文祭の開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,350	一般財源	補助金 800
		負担金 450
(前年度予算 100)		食糧費 100

### 2 事業背景・目的

令和6年度は、国内最大の文化の祭典である「国民文化祭・全国障害者芸術文化祭」(以下「国民文化祭」といいます。)と文化部のインターハイと呼ばれる「全国高等学校総合文化祭」(以下「総文祭」といいます。)という2つの大きな文化大会が岐阜県で行われ、飛騨市も両大会の開催地となります。

この好機を受けて、国民文化祭の開催期間中は、飛騨市のあらゆる文化芸術活動や地域資源等にスポットライトを当て市内外にPRします。

また、総文祭では、全国から参加する高校生が満足できるよう開催地である飛騨市の文化・観光資源を活用したプログラムを実施するとともに、全国大会が飛騨市で行われることを広くPRします。

### 3 事業概要

#### ①【新規】国民文化祭「清流の国ぎふ」文化祭2024 (1,250千円)

開催期間：令和6年10月14日～令和6年11月24日

(1) 期間中に開催される市内の美術展、文化祭等の文化芸術活動を国民文化祭関連イベントとして取り上げ、一体的にPRします。

(2) 令和6年10月27日(予定)に、地歌舞伎等を披露する飛騨市伝統芸能オータムフェスティバル(仮称)を飛騨市文化交流センターで開催します。

#### ②【新規】総文祭 清流の国ぎふ総文2024 (100千円)

開催期間：令和6年8月2日～令和6年8月4日

飛騨市開催部門：文芸部門(短歌・俳句・詩・散文・文芸部誌)

来場予定者：約500名(全国の高校生約250名及び引率や視察等約250名)

開催初日に行われる文学研修において、古川の街中等を散策するコースを設け、参加する高校生に対し飛騨市の魅力を伝えます。

担当課：飛騨市教育委員会文化振興課(☎0577-73-7496) 予算書：P.136